IELTSライティング自習のための完全ガイド

Phillip James Language School

Fun and Reliable

目次 - INDEX -

ライティングテストの勉強方法

- 書くことを習慣化する
- 日記を書く
- アイデアを集めて
  意見を発展させましょう
- ニュースについて書く
- テレビを見る
- 英作文構造の基本ルールを学ぶ

PHILLIP JAMES

ライティングテストの勉強方法

IELTSのライティングテストは、最初はとても手強く感じるかもしれません。生徒さんが「ライティングは本当にしたくないんです」と言うのをよく耳にします。私の母国語であっても、それは時間の掛かる作業ですので、私はそれが本当であろうと思います。

しかし、いくつかの簡単なルールを学べば気が楽になり、あなたが思っていたよりもずっと良くなるでしょう。以下の提案に従って、どうなるか見ていきましょう。

- 書くことを習慣化しましょう
- アイデアを集めてアイディアを発展させましょう
- 英作文構成の基本ルールを学びましょう
- 出来るだけ多くの英語を読みましょう

PHILLIP JAMES

書くことを習慣化する

日記を書く

これが最初の大きな一歩です。ほとんどの人は、単純に自分の考えを書き留めることに慣れていません。だからこそ、私たちは生徒さんに毎日日記を書くことをお勧めしています。その日に何をしたかを書き留めるという単純な行為が脳を活性化させ、自分の考えを英語でどう表現するかを注意深く考えるようになるからです。しかしここで重要なのは、一般的に、自分がしたことや経験したことについての意見を述べずに、自分が経験した事実だけを書き留めてしまうことが多いということです。

これはIELTS試験のライティングとスピーキングの両方で準備をする上で重要なことです。何故なら、意見を書く場合はより複雑な言葉を必要とする傾向があり、IELTSテストでは、あなたの意見を述べる事ことを期待しているからです。スピーキングテストでは、試験官は貴方が言ったことについて、なぜそう思うのかを頻繁に質問しますし、ライティングテストでは貴方が出した答えの理由を問う質問がなされます。

PHILLIP JAMES

アイデアを集めて意見を発展させましょう

日記を書くことに慣れてきたら、一般的な社会問題についてのアイデアを集め、
それに関連した自分の意見を展開していきましょう。
日記を書く習慣を維持することも最適な方法です。

PHILLIP JAMES

これをする必要があるのは次の2つの理由からです

- 第一に、ライティングテストでは、幅広い社会問題が出題され　ます。つまり特定の意見に賛成か反対か、特定の意見をどの程　度真実だと思っているか、特定の社会問題に共通する問題や解　決策は何かなどです。

- 第二に、IELTSのエッセイ問題の場合、与えられた時間は40分しかありません。様々なアイデアを素早く考えられるように準備しておく必要があります。そうすることで試験中の残りの時間を使って、エッセイの計画を立てたり、エッセイの構成に集中したり、語彙や文法に注意を払ったりする余裕が出来ます。

PHILLIP JAMES

ニュースを使ったライティング

本当に素晴らしい始め方は、ニュースについて書くことです。
ここではその方法を順を追ってご紹介します。

1. スピーキングテストの準備と同じように、トピックや社会問題などのリストを用意しましょう。

e.g.)

- 健康
- 教育
- 政府の責任問題
- 環境
- グローバル化
- マスメディア
- 芸術

例えば、2週間で読むトピックを2つ選んで読 んで下さい、例え ば、前半の週に健康と教育、後半に政府の責任と環境等です。

これらの話題に関連するニュース記事をできるだけ頻繁に、少なくとも1日1回は読むようにしましょう。

PHILLIP JAMES

IELTSライティング自習のための完全ガイド

1. 最低でも週に3〜4回は、以下の項目を網羅して、読んだニュース記事について書いてください。
    - *I was reading a news article recently about…*（記事の話題を続ける）
    - *Basically, what it says is…*（重要な事実等を含む記事の要約を書く）50文字程度の長さ。
    - *I thought it was interesting because…*（あなたの意見を書く）50文字程度の長さ
    - *Some interesting language is…*（後々自分で使えるようになりたい言葉、フレーズ、文法を書き留めておく）

PHILLIP JAMES

Phillip James Language School; *Fun and Reliable*

下記の4つのポイントのニュース記事や関連するメモなどを
保存しておくファイルを用意しておきましょう。

ニュース記事の考えや問題を覚えておくようにしましょう。

- 大学生の場合なら、IELTSを受験している人や英語を勉強している人たちと勉強会を作り、
  一緒にニュース記事について語り合いましょう。
- あなたのファイルをIELTS指導の先生のところに持って行き、
  ニュース記事について意見を求めてみましょう。
- 自分でテスト：ニュース記事を読んで、
  そこから主な考え方や論点を思い出せるかどうかを自分で確認しましょう。

PHILLIP JAMES

テレビを見る

ドキュメンタリーを見るときは、上記と同じようなことができます。 YouTube、Netflix、Huluなどでは、試験で出てくる問題に関連したドキュメンタリー番組を見ることができます。 1時間のドキュメンタリーを見るには、ニュース記事を読むよりも多少時間がかかりますが、ニュースをたくさん読んだ後であれば、より楽しく見れるでしょうし、モチベーションを上げるのにも役立ちます。

PHILLIP JAMES

英作文構造の基本ルールを学ぶ

自分の考えを作文で表現することにある程度の自信がつき、社会問題に関するさまざまな考えがまとまったら、それを論理的な形にまとめる必要があります。そこからアカデミック・ライティングのスキルを身につけることができます。

PHILLIP JAMES

基本的な書き方のルール

どの小論文も、どれだけ長文で複雑な小論文であっても
基本的な書き方のルールは同じで、次のような特徴を持っています。

1. 導入部：以下が含まれます
    A. 一般的な概要
        B. エッセイのテーマ：通常は導入部の
        めくくりの文で、エッセイの主要点　や
        張を簡潔に 述べたものです。

2. 段落：以下が含まれます
    A.主題文：通常は段落の最初の文で、
    段落の中で述べられる主要なアイデア
    について述べています。
    B.主題文のアイデアを支える例文を
    提供する裏付け文

3. 結論：基本的には導入部の再構成
        a.結論には、これまでの記述で述べられ
        ていないアイディアが含まれていて
        いけません。

4. 繋ぎ語：however, therefore, example,
    firstly, in conclusionのように、あなたの
    考えを結びつける　言葉。

5. 一貫性：これは、
    あなたの考えが論理的
    に書かれていることを
    意味します。

PHILLIP JAMES

他のエッセイを研究する

- できるだけ多くのエッセイを読んで、上記の特徴を勉強しましょう。
- これらの1から5までの特徴のチェックリストを作成して、あなたが読むすべてのエッセイで、それらの特徴を特定できるかどうかを確認しましょう。
- 自分のエッセイを書くときにチェックリストを使いましょう
- あなたのエッセイを他の人のエッセイと比較してみてください。あなたのエッセイにも同じような学術的な特徴が全て含まれていますか？

PHILLIP JAMES

IELTSライティング自習のための完全ガイド

Twitter: https://twitter.com/pj_english

Instagram: https://www.instagram.com/phillipjames_english/

PHILLIP JAMES